

JSA 夏の学校 2013 in 宮城

「震災から 2 年、被災地の〈いま〉を学び、〈これから〉を考える」

主催：日本科学者会議(JSA)夏の学校 2013 実行委員会

— 1st Circular —

1. 校長挨拶

今年も夏の学校の季節が近づいてきました。「夏の学校」は、全国から院生・若手研究者が集い、社会問題についてフィールドワークや当事者からの聞き取り、また様々な分野の専門家との議論により理解を深めるとともに、科学者の社会的な役割と責任を考える企画です。参加者による研究分野を超えた交流から刺激を受け、蛸壺的な「専門」家に陥らず、なおかつ現代の最新の状況を学ぶ機会であると考えています。

今年の夏の学校の開催地は宮城県です。周知の通り、震災から 2 年以上が経つ現在においても、被災地の生活と生業の再建は進んでいません。今年は夏の学校のテーマを「震災から 2 年、被災地の〈いま〉を学び、〈これから〉を考える」としました。まずは、被災地の現状を知る事なしには、被災地のこれからを考えることはできません。津波被害により、住宅が全て流され平野になった地帯、校舎全体が被災した小学校、横倒しとなった建物、中央部分が丸ごと流された鉄筋コンクリート橋など、現在でも至るところに被災の痕跡が見てとれます。そして、それは同時に依然として復興・復旧が進んでいない事を表しています。夏の学校では、こうした現状を直接に現地で見るとを、まず第一の目的とします。そして、第二に、被災され今も仮設住宅で住まわれている方々や、また今まさに自らの生業を再建しようとしている方々に、被災地での暮らしについて、その被災された当時のお話と現在の取り組みについて伺おうと考えています。

夏の学校 2013 年は、現在まさに様々な問題が起こっているながら、現地に訪れなければわからない被災地の現状を学び、参加者と被災地の方々、そして参加者同士が議論・交流する場となります。そのため、丸一日を使い津波被害の最も大きかった地域のひとつである石巻市を訪問し、ご自身も被災された方を講師に現地を案内していただきます。また、現在、仮設住宅に住まわれている方々への訪問、生業の再建に向け活発な取り組みをされている漁協の方々にもお話を伺うことを検討しています。

震災からすでに 2 年以上が経ついま、直接にその現状を学び・考える第一歩として、参加した院生・若手研究者・若手 JSA 会員それぞれが東日本大震災の問題を今後考える一助となるよう企画しています。また、全国から参加者が集う貴重な交流の場として、実り多いものになればと考えます。全国の皆様のご参加を心からお待ちしています！

「夏の学校 2013in 宮城」校長 鈴木 力

2.企画概要

■開催日時：2013年9月20日（金）～23日（月）（3泊4日）

■集合時間場所：15時仙台駅集合

■宿泊場所：エスポール宮城（最寄り「東仙台駅」徒歩12分）

□宿舎は基本的には集団部屋ですが、個室利用希望者は近隣宿舎への予約対応可能です。その場合の宿泊費は他の参加者と同額になります。

■参加費：17000円＋交通費

※院生の交通費はカンパによって出ることがあります。詳しくは日本科学者会議の各支部か、夏の学校実行委員会にお問い合わせください。支部からの交通費補助が実費に足りない場合も、夏の学校実行委員会にご相談ください。

※部分参加の場合は、以下の各項目の合計額となります。

初日宿泊費(朝夕食付)4000円、二日目宿泊費(朝夕食付)4000円、三日目宿泊費 23日朝食のみ付で3600円、21日と22日の昼食各500円、22日夜の懇親会費3500円、その他懇親費1500円

■第一次申し込み締め切り：6月30日

3.タイムスケジュール

	20日	21日	22日	23日
午前		現地FW 石巻・女川	仮設住宅・漁港 見学	研究・活動交流 12時宿舎解散 ※12時30分に宿舎発 仙台駅バスが発券予定
午後	15時仙台駅集合 自己紹介 研究紹介		シンポジウム	
夜	交流会	交流会	交流会	

4.企画主旨

※現時点での予定です。フィールドワークの場所・時間等の詳細は変更の可能性があることをあらかじめご了承ください。

9月20日（金）

全国の大学院生との交流は夏の学校ならではの。

翌日からのフィールドワークの事前学習として、東日本大震災の被害の概要に関する学習会も予定しています。

- ・自己紹介、研究交流
- ・震災状況についての学習会

(Time Schedule)

- 15:00 JR 仙台駅に集合
- 15:30 仙台駅発エスポールみやぎ行きバス出発
- 15:45 エスポールみやぎに到着
- 16:00 開校・自己紹介
- 16:30 震災状況についての学習会
- 18:00 夕食
- 20:00 宿舎交流

9月21日(土)

津波被害とその後の復興の実情を伺い知ることの出来る箇所をまわるフィールドワークを開催します。津波被害の大きさとその後の状況について知るために、石巻市の方に案内をしてもらいながら、東松島市、石巻市、女川町の沿岸地域をまわります。

<東松島市>

津波による被害と、震災後に残された建物も取り壊しが進められ、一面、建物がなくなった地区、津波で船舶が流されたことで損壊した橋などを見学します。

<石巻市>

津波が来た時、多くの人が避難した場所でもある高台の神社から石巻市沿岸地区を眺めたり、津波被害を受けた小学校の建物を見学します。

<女川町>

津波によって、街が完全に流された女川駅周辺を見学します。

(Time Schedule)

- 8:00 朝食
- 9:30 バスで出発
- 10:00 東松島市周辺の見学
- 11:15 石巻市周辺の見学
- 12:30 昼食
- 13:00 女川町の見学
(移動)
- 18:00 宿舎到着、班ごとでのフィールドワークの感想交流
- 19:30 夕食、その後、宿舎交流

9月22日(日)

被災地の<いま>と<これから>について考えるにあたり、被災地域の現在を見てまわります。その後、被災地の復興についてのシンポジウムを行います。

被災された方の現在の暮らし、震災後の水産業の状況を知るために、仮設住宅、漁港の見学を行います。

2日間のフィールドワークを通して垣間見た、震災による津波被害からの復興を進めていくうえでの課題や展望について考えるシンポジウムを行います。

(Time Schedule)

- 8:00 朝食
- 9:30 バスで出発
- 10:30 仮設住宅の見学、聞き取り
- 12:00 漁港の見学
- 13:00 昼食
- 14:00 シンポジウム（フィールドワーク先での開催を予定）
- 18:30 居酒屋にて懇親会

9月23日（月）

院生に悩みはつきもの。一人で悩むより、みんなで悩めば気持ちが晴れるかも。この際何でも先輩に聞いちゃいましょう。

- ・ 研究生活体験記または博論執筆体験記
- ・ JSA 活動交流

(Time Schedule)

- 8:00 朝食
- 9:00 院生生活交流
- 12:00 閉校、解散
- (12:30 エスポールみやぎ発仙台駅行きバス出発)

5. 問い合わせ先

日本科学者会議（JSA）全国事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9F

Tel : 03-3812-1472 Fax : 03-3813-2363

<http://www.jsa.gr.jp/>

Mail : [jsa.summer.school.2013 アットマーク gmail.com](mailto:jsa.summer.school.2013@attmark.gmail.com)（JSA「夏の学校」2013 実行委員会）

■ 注意事項＊必ずお読み下さい

◆ 【参加確認の連絡/紹介文執筆のお願い】

参加を申し込まれた方には、事務局から確認のご連絡をメールにて差し上げます。また、参加者には自己紹介/研究紹介の文章を執筆していただく予定です。異分野の研究者間の交流を促すため、当日配布する「しおり」に全参加者の事項紹介を掲載します。参加者には別途原稿依頼のご連絡をいたしますので、ご協力ください。

◆ 院生・若手研究者の交流の場ですので、学部生やシニア会員の方の参加については、学習やフィールドワークは公開、その他は要相談とさせていただきます。